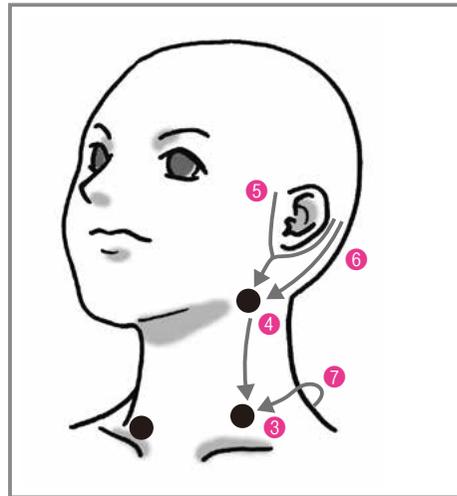


## 4 部位・症状別の施術方法

### 頸部 (図Ⅱ-6)

- ①軽擦<sup>註1</sup>：胸骨から肩峰までを手背で2～3回(開始のサイン)
- ②肩の回旋運動を他動的に行う(自動介助運動でもよい)
- ③左右の鎖骨上窩をステーションリーサークル
- ④頸部リンパ節の処理にあたり、耳垂から鎖骨上窩までをステーションリーサークル
- ⑤耳介前・後リンパ節の処理にあたり、ステーションリーサークル(標的は浅頸リンパ節)
- ⑥後頭骨周辺から頸部リンパ節までステーションリーサークル(標的は浅頸リンパ節)
- ⑦僧帽筋をステーションリーサークル(標的は鎖骨上リンパ節)
- ⑧上記③～⑦は状況に応じて適宜増減
- ⑨軽擦：胸骨から肩峰までを手背で2～3回(終了のサイン)



図Ⅱ-6 頸部の手順

(Földi M, et al : Földi's Textbook of Lymphology : for Physicians and Lymphedema Therapists. 3rd ed, ELSEVIER, Amsterdam, 2012. より引用・改変)



図Ⅱ-6の部位のステーションリーサークル